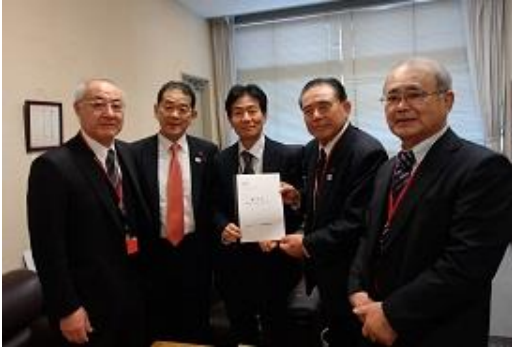


川田地籍へのスマート IC 設置で「期成同盟会」が国・県に要望



(国交省石川道路局長に要望書を提出)

昨年12月に若穂スマートインターチェンジ建設期成同盟会(会長:岡田 荘史)は国・県へスマート IC 新設の要望書を提出しました。国土交通省石川雄一道路局長からは地域住民の熱意、地域振興、利便性、需要面等の理解をいただき、アクセス道路の交通渋滞緩和策、地元の協力体制の構築等について助言をいただきました。奥村康博県建設部長からは新設による効果、地元の強い要望は理解でき県としても協力したいとの前向きな発言もいただきましたが、国と同様の課題の指摘もありました。スマート IC 建設には住民が一体となって協力体制を築き推進することが求められます。 (事務局長 刈間匠一)

住民が分担して刊行 すばらしい出来栄え「保科誌」

= 保科区長会(刊行会)が約7年をかけて「保科誌」をまとめる =
保科地区の念願であった、保科の歴史や風土、民俗・文化をまとめた『保科誌』がこのほど刊行された。資料収集や執筆にあたったのは地元住民でつくれた保科誌刊行会(雪入禮司会長)。監修は宮下健司先生。B5版・約600ページで、貴重な千枚ほどの写真も収録されている。残部は僅かだが希望者には税込5000円で頒布する。(回覧チラシを発行予定) 【問】 ☎ 282-3589 (刊行会事務局長 玉井一則)



(1月14日の長野市民新聞で紹介されました)

今年は市長室で「懇談会」方式 12月22日、自治協代表13名が市長に要望

出席は理事会メンバーで地元、岡田市議も同席。若穂の重点課題について加藤市長と協議しました。また、高齢者や障がいのある皆さんから要望が強い若穂支所のエレベーター設置についても、綿内会長が強く要望しました。



(新庁舎にある市長室で……)

スマートインターチェンジと道の駅について	<ul style="list-style-type: none"> ・設置の可能性と設置時期について、市はどのように考えているか？また、国に対する働きかけの進捗状況は？ ・IC 近隣への道の駅設置について、市の考えは？
千曲川新道について	<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定より遅れているが、今年度の整備及び今後の整備予定は？ ・綿内駅、川田駅の活用について、市の考えは？
都市計画道路について	<ul style="list-style-type: none"> ・千曲川右岸堤防改修(綿内地区)と、一部重複する都市計画道路との関連は？ ・国道403の渋滞解消のための、バイパス機能が果たせるように整備してほしい。
都市内分権の総括について	<ul style="list-style-type: none"> ・第二期都市内分権推進計画を終えて「どのように「評価しているか？自治協は行政の下請けではない。今後、都市内分権をどのように進めていくのか？ ・人的支援として市職員を若穂に1名配置してほしい。

《ト・ピ・ッ・ク・ス》
保科広徳寺で大明国師法要



「地域おこし隊員」着任！



今年の成人式出席は111名

若穂成人式に思う ～頼もしい成人者たち～

ここ3年間、若穂成人式に出席させていただいています。毎年、新たな感動を覚えますが、共通していることは、「成人者たちの自覚ある参加」です。

式が始まると、携帯やスマホ使用したり私語をしたりする姿は全くと言っていいほど無くなります。お話をしてくださる方に目を向け最後までしっかりと聞いてくれますので厳粛な雰囲気うちに式が進みます。大人への決意を述べる代表者も、自分の考えを自分の言葉で堂々と述べ、とても爽やかです。

祝賀会になると雰囲気が一転し、現代の若者そのものです。振袖・スーツ姿も華やかに、語り・笑い・飲み・食べ・スナップ写真と駆け回ります。友達どうし、恩師を囲んで、男女入り混じり、至極和やかで生き生きとしています。

成人式への出席者は毎年100人(80%)を超えていると聞きました。これは成人者の「若穂への愛着、郷土への想い」の一端を表しているのではないのでしょうか。そしてそこに人生での重要基本事項、「人の話に耳を傾ける」「自分の考えを自分の言葉で述べる」への真正面の姿勢。

私は成人式に出席するたびに、若穂の若者の頼もしさと若穂の次代に安堵感を感じます。
(若穂自治協会長 綿内剛美)

『わかほ塾』が大野さん、越前屋さんの歓迎交流会を開きます 2月12日(日)

どなたでも参加 OK！中・高生も大歓迎です。大勢ご参加ください。若穂の明日について、地域おこしについて一緒に語ってみませんか？！話題のジビエ料理「ジビエ汁」も用意します。この機会に味わってみてください【無料】。詳細は、別途配布の案内チラシをご覧ください。

●児童を交通事故から守る●

「綿内の保科です」

綿内小学校の登校時間・・・子どもと挨拶を交わしながら交通指導にあたるのは綿内小学校長の、保科信幸さん。



若穂には長年、ボランティアで“通学路を守る”人が何人もいらっしゃいます。寒い季節、お体にも気を付けてください。ありがとうございます。(感謝)

7年余の「上高井郡若穂町」の記録を残そう！ 若穂郷土史研究会がグループで研究 家に眠っている「資料」「写真」のご提供を！

昭和34年4月から41年10月までの7年余り、若穂は「上高井郡若穂町」の時代でした。その後2市3町3村の大合併に加わって長野市の一地区に。時代は昭和の高度成長期、あらゆるものが激変しました。今上天皇がご結婚され、ダブル台風が若穂を直撃し、松代群発地震に日夜脅かされ、統合中学校が建設され、落合橋が永久橋にかわり・・・消えゆくその時代を「上高井郡若穂町を記録する会」(佐藤次二代表)が保存します。「資料」「写真」のご協力をお願いします。詳細は次号で。【問】 ☎ 282-2072 (小林隆夫)

バス定期券購入費の10%補助は、昨年10月から今年3月の購入分は、4月の申請となります。「申請書兼請求書」(事務局に用意)に、購入時に発行される「定期券発行証明書」を添付して事務局(若穂支所内)に申請することになります。予めご用意ください。“乗って残そう”若穂の路線バス！【問】 ☎ 自治協事務局 050-3583-5700